

(様式 1-3)

福島県楡葉町再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 4 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|--|------------|----------------|------------------|------|----------|
| NO. | 1 | 事業名 | ゲルマニウム半導体検出器導入事業 | 事業番号 | (3)-11-1 |
| 交付団体 | 楡葉町 | 事業実施主体 (直接/間接) | 楡葉町 (直接) | | |
| 総交付対象事業費 | 7,620 (千円) | 全体事業費 | 18,415 (千円) | | |
| 再生加速化に関する目標 | | | | | |
| 食品等の放射線測定体制を整備し、食品の安全性を町民自らの目で確かめることが安心・安全につながり、また検査結果を公表することで風評被害の抑制に繋げる。風評被害の抑制により、町内での農業再開を促し、帰町後の住民の生きがい造りや帰町の判断を迷う方への判断材料とすることで、今後の町民の帰町意欲を高め、町の復興を加速させることを目標とする。 | | | | | |
| 事業概要 | | | | | |
| 楡葉町では、町民自身が直接摂取・接触する食品（食用自生植物、自家栽培野菜、井戸水等）や花き類について、放射線簡易計測器での測定を行っているが、この簡易計測器で異常値が検出された場合の精密な放射線分析が必要とされている。 また、試験作付で収穫したコメの検査、土壌の検査等にも精密な検査が求められる。 本事業では、町民に安全・安心な暮らしを提供するため、精密な検査を行うことのできる、放射線検出器（ゲルマニウム半導体検出器）を役場施設（楡葉町公民館）内に設置し、帰還を加速・促進する。 年間事業費 635千円×12ヶ月＝7,620千円 ※楡葉町復興計画〈第二次〉 食品等の放射線測定体制の構築 | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| ＜平成 26 年度＞ ゲルマニウム半導体検出器機器使用料 12ヶ月 ＜平成 27 年度＞ ゲルマニウム半導体検出器機器使用料 12ヶ月 ＜平成 28 年度＞ ゲルマニウム半導体検出器機器使用料 5ヶ月 ※平成 25 年度途中から 36 ヶ月の継続事業として導入しており、平成 28 年度は 5 ヶ月の機器使用料となる。 | | | | | |
| 地域の再生加速化との関係 | | | | | |
| 飲食物等に含まれる放射性物質の検査実施体制を整備し、飲食物等の摂取による内部被ばくを未然に防ぎ住民の健康を守るとともに、検査結果を公表することで住民の安心・安全な生活を確保し、住民の帰還を促す。 | | | | | |
| 関連する事業の概要 | | | | | |
| ※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。 | | | | | |
| 関連する基幹事業 | | | | | |
| 事業番号 | | | | | |
| 事業名 | | | | | |
| 交付団体 | | | | | |
| 基幹事業との関連性 | | | | | |
| | | | | | |